

子育て・教育

文化と品格を誇れる価値あるまちへ

福祉

安心
安全

参加
協働

- 1 子どもスキップ・中高生センターの整備
- 2 待機児対策と特別保育事業の充実
- 3 家庭の教育力向上支援
- 4 ALLとしま学力向上プラン
- 5 ALLとしま教育ネットワーク
- 6 小・中学校の改築

子育て・教育 1 子どもスキップ・中高生センターの整備

21年度事業費：437,575千円

【目標】

- 子どもの権利が尊重・保障される中で、子どもの自主性・主体性を育む遊びと交流、活動の場が整備されている。

【取組み方針】

- 子ども同士の遊びや、交流・活動の機会が減少する中、全小学校区に「子どもスキップ」を整備し、小学生が放課後や学校休業日等に、より安心・安全でいきいきと過ごせる空間を創出する。
- 中高生センター「ジャンプ」を区内2か所に整備し、中高生が自主的な活動や社会参加を育むことができる場や機会を提供する。

【主な事業】

〔※経費は21年度事業費総額、また、末尾 [番号] は第7章の事業番号に対応〕

◆ 子どもスキップ事業	(拡充)	305,392千円	[75]
◆ 子どもスキップの施設改修	(継続)	112,513千円	[76]
◆ 放課後子ども教室	(継続)	8,348千円	[134]
◆ 中高生センターの整備と運営	(継続)	11,322千円	[77] [78]

【チャレンジ指標】

指標名称	基準値 (19年度)	現在 (20年度)	4年後 (24年度)	目標 (27年度)
子どもスキップ施設数	12か所	14か所	21か所	22か所
中高生センター施設数	1か所	1か所	2か所	2か所
中高生センター 中高生利用者数	8,837人	9,579人 (12月現在)	↗	↗

「中高生センター」とは、音楽・芸術活動、友人との語り、ボランティア活動の拠点等として、中高生の自主的な活動を支援する施設です。

「子どもスキップ」とは、小学校の教室や校庭、体育館等を活用し、学童クラブの機能を備えた全児童のための放課後対策事業です。

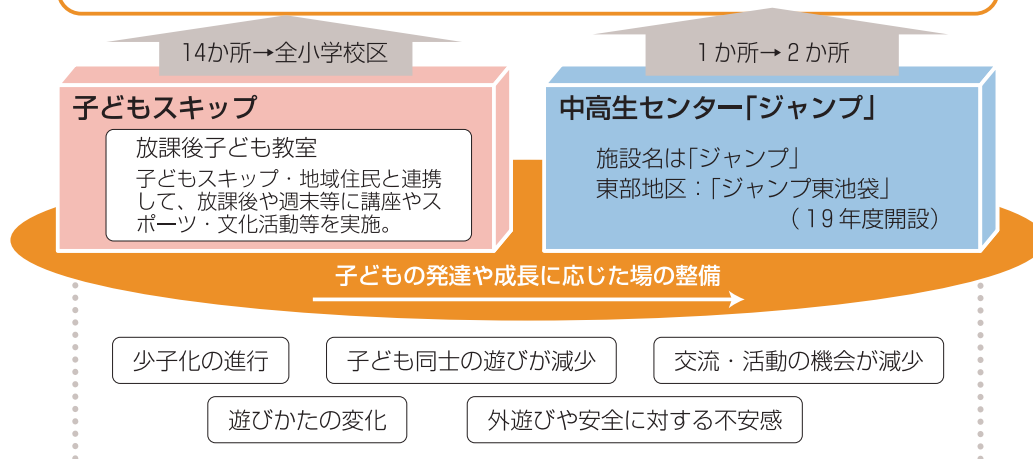


【一輪車でポーズ(子どもスキップ)】



【高校生バンドライブ(ジャンプ東池袋)】

子ども同士の交流、自主的な遊び・活動の充実、社会性の育成



21年度事業費：2,241,677千円

【目標】

- 子育て家庭が必要に応じて利用できる子育て支援サービスが整備され、誰もが安心して子育てができていく。

【取組み方針】

- 区内乳幼児人口の増加で、保育所入所待機児が増加傾向にある中、「豊島区保育計画」（平成21～23年度）により、認可保育所定員の増員や保育ママ事業の充実等を図り、保育所入所待機児を減少させる。
- 多様な担い手との協働体制を強化して、病後児・休日・一時などの特別保育事業を充実させることで、高水準の保育を実施する。

【主な事業】

〔※経費は21年度事業費総額、また、末尾「番号」は第7章の事業番号に対応〕

◆ 認可保育所の定員増(保育所待機児対策事業)	(拡充) 2,183,069千円	96
◆ 保育ママ事業	(継続) 43,869千円	98
◆ 認証保育所の増設(22年度以降拡充予定)		
◆ 病後児保育事業	(継続) 14,739千円	93

【チャレンジ指標】

指標名称	基準値 (19年度)	現在 (20年度)	4年後 (24年度)	目標 (27年度)
保育ママ数	0人	8人	11人	11人
保育所待機児数(4月)	31人	58人	↘	↘
特別保育事業利用者数	5,962人	6,000人	6,300人	6,300人



【保育園】

保育ママ 事業イメージ

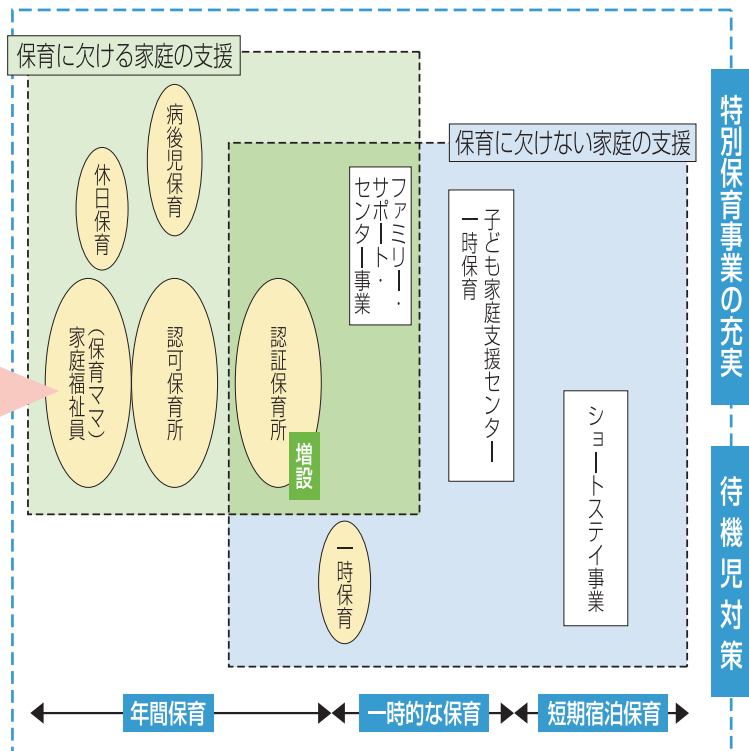
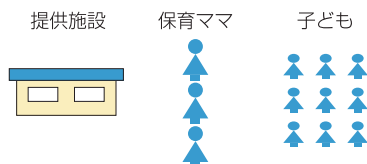
● 自宅提供型

自宅で保育ママ1人が預かった子どもを保育する



● 施設提供型

区が提供する施設で保育ママ3人のグループが預かった子どもを保育する



子育て・教育 **3** 家庭の教育力向上支援

21年度事業費：43,511千円

【目標】

- 家庭の教育力向上に向け、家庭の自主性が尊重される中で、地域、学校、行政などがそれぞれの役割を果たしつつ、家庭教育を支援している。

【取組み方針】

- 家庭の教育力の低下が指摘される中、子どもの発達段階に応じた学習機会や情報提供を通じ、子どもの基本的な生活習慣の確立をはじめとした家庭教育の重要性を啓発する。
- 子育て家庭の状況や親の意識、抱える問題の多様性等を踏まえ、すべての家庭に対するきめ細やかな相談・支援体制を身近な環境に整備する。
- 青少年育成団体や子育て支援団体等の活動を支援するとともに、各種機関との連携のもと、地域全体で家庭教育を支援するための環境づくりを推進する。

【主な事業】

〔※経費は21年度事業費総額、また、末尾「番号」は第7章の事業番号に対応〕

◆ 家庭教育推進事業	(継続)	1,697千円	133
◆ 【再掲】学校における食育の推進事業	(継続)	44,432千円	115
◆ 発達支援事業	(拡充)	24,780千円	84
◆ 親の子育て力向上支援事業	(新規)	770千円	83
◆ 青少年育成委員会運営	(継続)	6,758千円	132
◆ ウェルカム赤ちゃん(子育て体験ツアー)事業	(継続)	210千円	88
◆ こんにちは赤ちゃん事業	(継続)	9,296千円	61

【チャレンジ指標】

指標名称	基準値	現在	4年後 (24年度)	目標 (27年度)
家庭教育学級参加者数	397名 (18年度)	279名 (19年度)	↗	↗
青少年育成委員会 研修会参加者数	176名 (18年度)	165名 (19年度)	↗	↗

【青少年育成
委員会行事】



【家庭教育
推進員活動】



地域全体での支援の推進

- 家庭教育推進員活動
- PTA家庭教育講座開催促進
- 青少年育成委員会運営支援
- 青少年委員活動支援 など

学習機会・情報提供の充実

- 家庭教育学級開催
- 母親学級・両親学級
- 子育て講座・父親向け講座
- 健康教育、食育の推進 など

相談・支援体制の整備

- 子ども家庭支援センター相談
- 子ども家庭女性総合相談
- 育児相談
- 教育相談 など

- ◎ 家庭教育推進員
- ◎ PTA
- ◎ 青少年育成団体
- ◎ 地域団体(町会等)
- ◎ 子育て支援グループ
- ◎ 民生委員・児童委員
- ◎ 企業 など

・学習機会
・情報提供
・相談対応

子どもの発達段階に応じたすべての親への支援

- ・ 学習、交流の機会の増加
- ・ 体験不足等による悩みの解消
- ・ 親子のふれあいの増加
- ・ 父親の家庭教育への参加 など

家庭の教育力向上

21年度事業費：96,826千円

【目標】

- 児童・生徒一人一人に確かな学力を身に付けさせるために、授業改善推進プランに基づくカリキュラムや算数・数学における習熟度別指導を全校が実施している。
- 小・中学校が連携した英語教育の実施により、実践的コミュニケーション力が育成されている。

【取組み方針】


- 国語力の向上を図るカリキュラムと教材開発、算数・数学における習熟度別指導を教育課程編成の重点事項とし、授業改善推進プランによる計画的な実施とともに、確かな学力を育成する。
- 区独自の小学校英語活動カリキュラムによる英語教育の推進と中学校の英語教育の充実により、誰とでも主体的にかかわろうとする子どもの育成を目指す。

【主な事業】

〔※経費は21年度事業費総額、また、末尾 [番号] は第7章の事業番号に対応〕

◆ 学力向上支援事業	(継続)	35,826千円	[108]
◆ 区立小・中学校小規模校授業づくり支援事業	(新規)	9,384千円	[109]
◆ 豊島区読書フェスタ	(新規)	170千円	[110]
◆ 英語教育推進事業	(拡充)	43,635千円	[107]
◆ スクールライブラリーの活性化事業	(拡充)	7,811千円	[122]

【チャレンジ指標】

指標名称	基準値	現在 (20年度)	4年後 (24年度)	目標 (27年度)
国語読解力(小学校)	67.7% (18年度)	69.6%	70.0%	70.0%
算数思考力(小学校)	63.6% (18年度)	64.6%	66.0%	66.0%
自分の気持ち、考えを 発話している児童の割合	56.8% (19年度)	61.2%	90.0%	

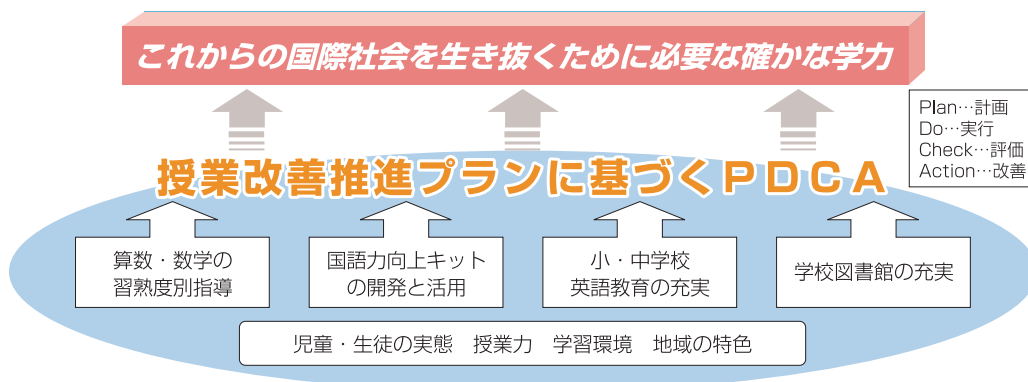


【小学校英語活動の風景】



【中学校数学授業風景】

*上記指標の「国語読解力」「算数思考力」は、区で実施する「基礎基本調査」で目標とする得点を達成できる児童の割合。「自分の気持ち、考えを発話している児童の割合」は、児童へのアンケート結果



子育て・教育 5 ALLとしま教育ネットワーク

21年度事業費：5,877千円

【目標】

- 大学との連携・協働を推進し、大学の知的・人的資源を活用した特色ある教育活動が展開されている。
- 地域資源（人材・伝統文化・環境）を生かした教育課程を編成し、地域に信頼される学校づくりが推進されている。

【取組み方針】

- 「区内大学との包括協定」に基づき、学生による教育活動のサポートや教員研修などの諸事業を実施し、学校の特色化や教師力の向上に取り組む。
- 学校ごとの地域資源を生かしたカリキュラムに基づき、教科や総合的な学習の時間、学校行事において、児童・生徒が地域人材や伝統文化などと直接かかわる場や機会を提供し、地域との連携・協働による教育活動に取り組む。

【主な事業】

〔※経費は21年度事業費総額、また、末尾 [番号] は第7章の事業番号に対応〕

◆ 大学と区立小・中学校の教育連携	(拡充)	1,078千円	[111]
◆ 健康教育推進事業	(継続)	940千円	[114]
◆ 地域との連携事業	(継続)	3,859千円	[106]

【チャレンジ指標】

〔※調査等の関係で、基準値以降の数値がない場合、現在欄は「同左」としています。〕

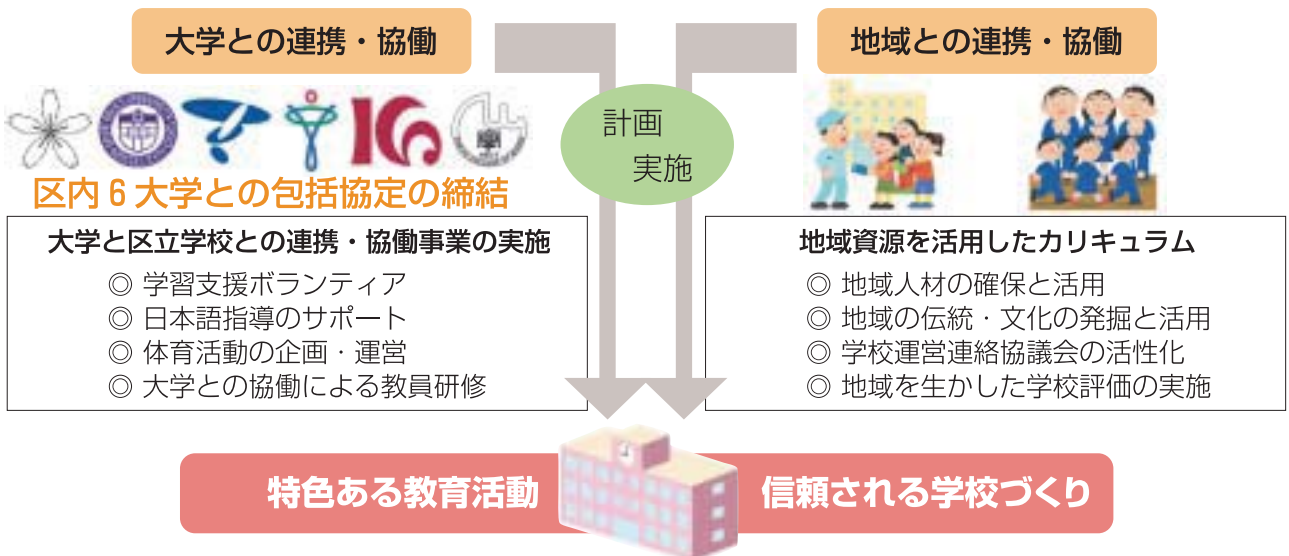
指標名称	基準値	現在 (20年度)	4年後 (24年度)	目標 (27年度)
大学連携実践校割合	40% (19年度)	71%	100%	100%
地域人材を学校で活用すべきという保護者の割合	23.4%(小・中) (18年度)	同左	30%(小・中)	40%(小・中)



【親子体力テスト】



【日本語指導サポート】



子育て・教育 **6** 小・中学校の改築

21年度事業費：1,381,548千円

【目標】

- 児童・生徒の学習の場及び生活の場としての安全・安心で快適な学校環境が確保されている。
- 生涯学習や地域活動等のまちづくりの拠点としての地域に開かれた学校施設が整備されている。

【取組み方針】

- 小・中学校改築計画（期間30年）に基づき、計画的に28校の改築を実施する。そのうち、前期計画（平成20～29年度）において7校（統合減1校含む）の改築を実施する。
- 小・中学校の適正化第二次整備計画に基づき、池袋第二小・文成小の統合とそれに伴う改築を実施する。
- 各小・中学校の改築を地域の参画と協働で実施する。

【主な事業】

〔※経費は21年度事業費総額、また、末尾 [番号] は第7章の事業番号に対応〕

◆ 西池袋中学校の建替え	(継続) 1,379,748千円	126
◆ 目白小学校の建替え	(新規) 1,800千円	125
◆ 池袋第二小学校と文成小学校統合の推進	(継続)	127

【チャレンジ指標】

指標名称	基準値 (19年度)	現在 (20年度)	4年後 (24年度)	目標 (27年度)
改築完了校数	3校	3校	4校	5校

小・中学校改築計画

前期計画	中期計画	後期計画
平成20～29年度 (10年間) 7校対象 6校(統合減1校)	平成30～39年度 (10年間) 10校対象	平成40～49年度 (10年間) 11校対象

前期計画

No	学校名	H20(2008)	H21(2009)	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
1	西池袋中	基本設計	実施設計	工事(仮校舎:旧真和中)							
2	目白小			基本設計	実施設計	工事(仮校舎:旧真和中)					
3	池袋第三小					基本設計	実施設計	工事(仮校舎:旧真和中)			
4	池袋中					基本設計	実施設計	工事(現校舎使用)			
5	池袋第二小 文成小						(閉校)	仮校舎(池袋第二小・文成小統合新校)			
6	巣鴨北中							基本設計	実施設計	工事(仮校舎:現校地内)	
仮校舎[旧真和中]		設計	工事	西池袋中仮校舎		目白小仮校舎		池袋第三小仮校舎		—	

仮校舎利用計画

学校名	H20(2008)	H21(2009)	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)
西池袋中	基本設計	実施設計	工事	工事	新校舎			
目白小			基本設計	実施設計	工事	工事	新校舎	
池袋第三小					基本設計	実施設計	工事	工事
仮校舎[旧真和中]	設計	工事	西池袋中仮校舎		目白小仮校舎		池袋第三小仮校舎	

【西池袋中の改築等を考える会】
【目白小の建替え等を考える会】

地域との協働

基本構想(基本計画)の策定